

アフリカは次の章へ

ルーム・トゥ・リードの「アフリカ基金」は、効果的な投資によってアフリカ全体で基礎学習を広げ、より多くの子どもたちが本を読み、学び、成長できるようにすることを目指しています。

皆さまからの支援により、ルーム・トゥ・リードのアフリカ基金が2027年末までに達成できること：

7,500万ドル

アフリカへの投資額を過去3年間の倍増となる7,500万ドルにする

800万

支援対象の子どもの数を過去3年間の3倍となる年間800万人にする

8+

8カ国以上で展開して効果を深める

皆様のご支援により、これまでの成果がさらに加速します：

2倍

支援を受けていない学校の子どもたちと比べて、ルーム・トゥ・リードの支援を受けた子どもは1分間に正しく読める単語数が平均で2倍

2倍

支援を受けていない学校の子どもたちと比べて、ルーム・トゥ・リードの支援を受けた子どもは平均で理解度テストの正答数が2倍

79%

女子教育プログラム卒業生の高等教育進学率の上昇 – [アフリカのサハラ以南における高等教育への進学率10%未満の現状](#)

「ルーム・トゥ・リードのプログラムは、ミトゥーマ地区がこれまでに受けてきたどのプログラムとも異なります。教師の読解力が向上し、生徒による図書室の利用が増えたことで、学力も大きく向上し、特に読解力の面で大きな成果が見られました。」

ー ウガンダ、ミトゥーマ地区教育指導官



子どもの未来を拓く確かな実績

ルーム・トゥ・リードは25年にわたり、教育を通じた識字率の向上とジェンダー平等の推進におけるグローバルリーダーとして、世界28カ国で歴史的に社会から取り残されてきた地域で暮らす5,000万人を越える子どもたちを支援してきました。ルーム・トゥ・リードの変革的取り組みは、地域の教育者やコミュニティと協力しながら培ってきた数十年にわたる専門知識に基づき、世界中の子どもたちの教育の質を持続的かつ効果的に向上させるために不可欠な4つのコンピテンシー(カリキュラムとコンテンツ、教育者のトレーニングとコーチング、配信体制、調査と洞察)を活用しています。

この取り組みの中心にあるのは、子ども一人ひとりの尊厳を尊重すること、子どもが必要とする基本的なスキルを身につけられるよう、それにふさわしい支援を提供することです。ルーム・トゥ・リードのアプローチは全面的に、教室、学習スペース、そしてコミュニティ全体を子どもたちが学び、探求し、自らが望む未来を描くことのできる機会への入り口に変えていきます。

アフリカでの成果

1,000万人+

アフリカ7カ国で支援を受けた子どもたちの累計人数

7カ国

ルーム・トゥ・リードのプログラムが展開されている国数

1,600人+

2024年にトレーニングを受けた
教員と司書の人数

2,470人+

女子教育プログラム参加者の
中等学校卒者数

1,110冊+

アフリカで使用されている20言語で発行された
オリジナルおよび翻案書籍の合計冊数

25,000校+

識字教育プログラムを通して
支援が届けられた学校の
累計校数

640万+

学校や地域社会に配布
された本の冊数

■ **活動国(2025年現在)** : ケニア、マラウイ、ナイジェリア、ルワンダ、南アフリカ、タンザニア、ウガンダ

■ **今後の展開予定国** : エスワティーニ、エチオピア、ガーナ、レソト、モザンビーク、セネガル、シエラレオネ、ザンビア、ジンバブエ

必要に迫られているアフリカへの教育投資

2050年までに、世界の若者の3分の1以上がアフリカに暮らすと推定されています。その将来を担う子どもたちは現在、質の高い教育を受ける上で最大の困難に直面しています。サハラ以南のアフリカでは、平均して、10人中9人の子どもが10歳になっても簡単な文章を読めないという実情は、個々の将来を損なうだけでなく、世界の繁栄全体を脅かす深刻な学習格差を浮彫にしています。

根本的な格差が、アフリカ全体の教育改善を阻んでいます。最も緊急を要する課題のひとつは、小中学校全体において2030年までに1,500万人以上の教師が必要となることです。この格差に対応するために多くの国々で、トレーニングが不十分または無資格の教師が採用されているため、その結果として、子どもたちの学習成果が伸び悩んでいます。さらに、アフリカ全土の複雑な言語環境を考慮すると、現地の言語コンテンツとカリキュラムは、存在したとしても、教育上の優良事例と一致しないことがよくあります。さらに、アフリカのどの国も教育におけるジェンダー間の平等を達成できていません。これは、大陸全域で少女たちが教育を受ける際に直面する、特有の社会的・経済的な障壁が原因です。



「タンザニア教育研究所は、ルーム・トゥ・リードの我が国での継続的な支援を強く支持しています。その専門知識、協力精神、そして実績のあるインパクトにより、タンザニアの子どもたちの教育成果を向上させる上でかけがえのないパートナーとなっています。」

— タンザニア教育研究所所長

「ルーム・トゥ・リードとの18年間にわたるパートナーシップは、私たちの教育システムに変革をもたらしました。ルーム・トゥ・リードが支援している3州(リンポポ州、ムプマランガ州、およびクワズール・ナタール州)の学校では、初等教育段階におけるアフリカ言語の読解教育に関する国家的枠組みを実施する上で重要な役割を果たしています。」

— 南アフリカ共和国連邦基礎教育省事務次官

深刻な学習格差に対応するためのルーム・トゥ・リードのビジョン

ルーム・トゥ・リードは、将来を見据え、政府やパートナーとの連携のもと、エビデンスに基づいた費用対効果の高い介入を拡大し、より多くの子どもたちに、より迅速に支援を届けることを目指しています。以下に、今後数年間でアフリカに大きな変化をもたらすために、ルーム・トゥ・リードが進めようとしている大事な次のステップをご紹介します。皆さまからの投資は、学校における包括的な識字率向上と女子教育プログラムの実施を支えると同時に、アフリカ全域の教育の未来を変革するための主要戦略と優先事項の推進を支えます。

より多くの言語とコンテキストで利用できる魅力的なカリキュラムとコンテンツの開発

アフリカには3,000を超える言語と方言が存在し、その言語環境は豊かで多様です。しかし、基礎学習の支えとなる現地言語で書かれた質の高い教材や書籍、その他のコンテンツを利用できる子どもは、あまりにも少ないのが現状です。ルーム・トゥ・リードは、この格差を有意に埋めることを目指しています。そのために、現地の言語や文化のニュアンスの違いを尊重しながら、識字能力とライフスキルを育む質の高いカリキュラムやコンテンツを開発すると同時に、魅力的なフィクションおよびノンフィクションの児童書の現地制作も支援しています。主な目標は以下の通りです。

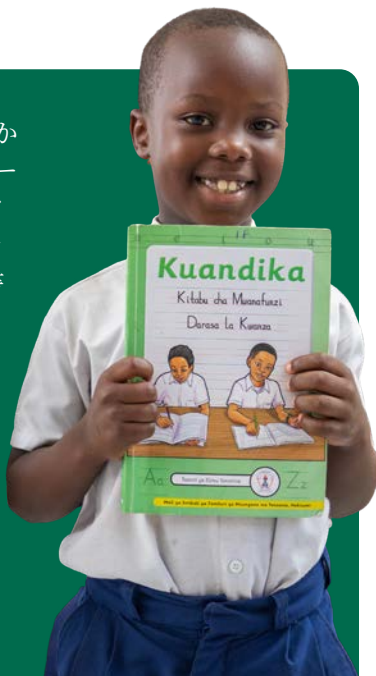
- ・ タンザニアと南アフリカの教育省と連携し、子どもたちの「読み書きの基礎」の学び方を根本から変える新しいカリキュラムを広範囲に普及させること。
- ・ ウガンダのアチョリ語やランゴ語、ナイジェリアのヨルバ語、イボ語、ハウサ語など、さらに多くの現地言語で新しい読書教材を開発すること。
- ・ 若者たちが自らの望む未来を描き、実現していけるよう、ケニアとマラウイを出発点とする、ライフスキルを育む教育コンテンツ少女達が未来を変えていく (She Creates Change) をさらに多くの思春期の子どもたちに届けること。

リソース不足の環境にいる教育者向けの状況に応じたトレーニングとコーチングの提供

優れた読者の陰には、優れた教師がいるものです。教師とは、子どもが学び歩む中で最も力強い影響を与える存在です。ルーム・トゥ・リードは、現役の教師と、これから教師になる人たちのためのトレーニング機会を増やすことにも力を注いでいます。トレーニングでは、最適な指導法や図書室の運営、読書活動、さらには子どもたちのライフスキルを育み、多様性を尊重する指導方法など、幅広いスキルを向上させることを目標としています。トレーニングは、教師、司書、政府の教育担当者、メンター、そして子どもたちの学習と豊かな成長に尽力する関係者など、幅広い教育関係者を対象とします。主な目標は以下の通りです。

- ・ タンザニアにおいて、費用対効果が高く強固な「指導者養成 (Training of Trainers)」の手法を育成・確立すること。政府のパートナーへのトレーニングから始まり、そこから教材や専門知識、効果的な指導法を現場レベルの教育者たちへと波及させることで、より多くの教育者と生徒に、より速く届くことになります。
- ・ タンザニアと南アフリカで、より多くの若者にライフスキル教育を提供すること。ルーム・トゥ・リードは、教育者がライフスキル教育を日々の授業に組み込んでいくためのトレーニングを実施します。これにより、生徒がリーダーシップ、協調性、クリティカルシンキングといった重要なスキルを学び、実践するための機会を増やしていきます。

タンザニアでは、1年生から2年生を対象としたルーム・トゥ・リードのスワヒリ語の識字カリキュラムが、全国の公式教科書と教師用ガイドに統合されました。ルーム・トゥ・リードはタンザニア教育研究所と協力して、これらの教材を全国18,000校以上の学校に展開しています。



2020年から2023年にかけて、ルーム・トゥ・リードは南アフリカの大統領青年期雇用構想の主要パートナーとなり、推定100人の指導者にトレーニングとリソースを提供しました。この指導者が6万人以上の若手ボランティア (Reading Champions) を動員して、12,000校の小学校で魅力的な読書活動を行い、460万人以上の子どもたちが恩恵を受けました。



プログラム実施体制の強化

子どもたちの読書、探求心、学習意欲を促すには、明るくカラフルで安全な学習スペースが不可欠です。ルーム・トゥ・リードは、子どもたちが、子どもに優しい教室、図書室、ライフスキルの指導やワークショップのためのスペースを利用できるように、より多くの学校、地域社会、政府を支援することを目指しています。また、ルーム・トゥ・リードでは、子どもたちが本を読んだり調べたりするための時間や、生徒の学習を支援する関連テクノロジーの導入にも働きかけていきます。主な目標は以下の通りです。

- ・ 南アフリカにおける図書室振興ツールキットの全国展開を支援すること。つまり、基礎教育省が、ルーム・トゥ・リードと協力しながら、地方自治体の学校における読書文化の促進を目的としたガイドラインに、ルーム・トゥ・リードの図書室アプローチを組み込んでいきます。
- ・ 個別の教師支援や、生徒の学習データのより効率的な収集を可能にするAI搭載ツールなど、革新的な教育テクノロジーの開発と試験運用を進めること。
- ・ ルワンダでの子ども向けの本の供給と需要の両面を強化すること。この一環として、ルワンダ初等教育委員会と連携し、ナショナル・ストーリーブック・ガイドラインの共同作成を進めています。

活発なリサーチとインサイトを通じて、取り組みの効果をさらに高める

ルーム・トゥ・リードは、しっかり考えられた調査と評価を通じて、読み書きやジェンダー平等に関するプログラムが、子どもたちの基礎的な学習スキルの習得に効率的に役立てられているかどうかを検証し、改善や革新の余地がある分野を特定していきます。このエビデンス主導型のアプローチにより、何が最も効果的かを特定し、その結果と戦略を関係団体や他の組織と共有して、実践のコミュニティを構築していくことができます。主な目標は以下の通りです。

- ・ 子どもの学習に影響を与える読書習慣の重要性について、子ども自身の読書への意欲、読書の頻度、保護者の関わりといった要素を検討しながら、信頼性の高い根拠を構築すること。
- ・ 自治体がライフスキル教育とメンターシップを優先するよう促すために、若者のライフスキル教育をスケールアップする方法に関するより多くのインサイトを深めること。
- ・ 尊厳ある学習実践と自尊心の向上が子どもの学習成果に与える影響に関するエビデンスを収集するために、尊厳に関する指標をプログラム全体に組み込むこと。

南アフリカのクワズール・ナタール州では、ルーム・トゥ・リードが州政府と協力して、図書室モデルを30校で共同導入しています。政府は、州内の全学校が質の高い図書室を設立し、管理できるよう支援するという目標に向けて、ルーム・トゥ・リードのアプローチを学び、採用することを目指しています。この取り組みは、全国図書室振興ツールキットの開発に役立っています。これにより、全州および地区の教育機関が、子どもに優しい図書室学校での魅力的な読書活動を統合できるようになります。

2022年、ルーム・トゥ・リードはタンザニア政府と協力して、ライフスキル教材の作成、評価、承認に関するガイドラインを策定しました。これらのガイドラインは、ライフスキル教育における専門知識を統合し、英語、地理、歴史などのさまざまな科目へのライフスキルの統合を支援しています。



時機到来：アフリカの未来への投資

アフリカ全土で、頭脳明晰な若者世代は、熱心に学びたいと願いつつも、現地言語で書かれた本も、トレーニングを受けた教育者も、成功に必要なサポートもない教室で勉強しています。未来の科学者、教師、起業家、指導者である子どもたちには、無限の創造性と決意があります。多くの人子どもたちにとって、質の高い教育を受ける基本的権利は、依然として、手の届かないところにあり、未曾有の可能性が未開拓のままです。

しかし、これはルーム・トゥ・リードが解決できる課題です。ルーム・トゥ・リードは、皆さまのパートナーシップとともに、アフリカ全土の生徒が学校やその他の学習分野で基礎的な識字能力とライフスキルを効果的に身に付け、未来を変える機会を創出し、投資に拍車をかけ、インパクトを高めることを目指しています。

今後3年間(2025~2027年)、ルーム・トゥ・リードはアフリカへの投資を倍増し、読み書き能力とジェンダー平等のプログラムによる恩恵を受けられる生徒数を3倍に増やすことを目指しています。これらの3年間の野心的な目標は以下の通りです。

- 過去3年間と比べて、アフリカでの取り組みへの投資を7,500万ドルに倍増すること。
- **2027年までに**、過去3年間と比べて、アフリカ全域で年間に恩恵を受ける子どもの数を少なくとも800万人に3倍に増やすこと。
- **少なくとも8カ国において取り組みを拡大・深化させること**。これは、ケニア、マラウイ、ナイジェリア、ルワンダ、南アフリカ、タンザニア、ウガンダでの既存の活動を基盤とし、さらに新たな国々への展開も含まれます。
- **パートナーシップを拡大・強化すること**。地方・国レベルの政府や教育機関、その他の革新的なパートナーと一緒に、次世代の子どもたちに利益をもたらす持続可能なシステムと拡張可能な解決策の構築を目指します。

皆さまのご支援は、より良いカリキュラムの整備、教師研修の充実、質の高い学習環境の整備、そして確かな調査研究への投資となり、これから何年にもわたり成果を生み続けます。その結果、何百万人もの子どもたちが色とりどりの本にあふれた教室に入り、優れた教師から、魅力的で現地の言語を用いた根拠に基づくカリキュラムで学べるようになります。

このビジョンは、まだ始まりにすぎません。けれど、この先をつくるにはあなたの力が必要です。次の一步は、あなたから始まります。力を合わせれば、何百万人もの子どもたちの未来を、より明るいものへと切り開くことができます。



活動に関するご質問やご支援のお問合せ：
認定NPO法人ルーム・トゥ・リード・ジャパン
<https://japan.roomtoread.org/>
japan@roomtoread.org

ルーム・トゥ・リード・ジャパンは、千葉県より認定を受けた認定NPO法人です。
寄付は税制控除の対象になります。


**Room
to
Read®**